

次号予告

特集 エージェントベース社会シミュレーションの動向と展望

複雑二重ネットワークモデル—知識と人のネットワークで社会を観る— ……寺野隆雄 (東京工業大学)

新型インフルエンザに対するパンデミック対策プログラムとプロジェクト分析

……………金谷泰宏 (防衛医科大学校), 他

歩行者回遊行動のエージェントモデリング ……………兼田敏之, 吉田琢美 (名古屋工業大学)

環境配慮型社会をデザインするエージェントベースモデリング:

研究の現状と今後の分析課題 ……………在間敬子 (京都産業大学)

組織デザインと社会シミュレーション ……………高橋真吾 (早稲田大学)

編集後記

●7月にファイナンスの国際会議に2件参加してきました。7月6日~9日に横浜で開催された Asian FA-NFA 2008 International Conference と7月15日~19日にロンドンで開催された Bachelier Finance Society 2008 です。

●Asian FA-NFA では、リアルオプション研究の第一人者でもある Eduardo Schwartz 先生の基調講演 “Commodity Derivatives and Real Option” が行われました。その中で収用リスクを考慮した油田開発の評価に関する研究が紹介され、世界最先端の研究を肌で感じる事ができました。また、Bachelier Finance Society ではリアルオプション関連の発表が10件ほ

どありました。代替オプションで有名な Decamps 先生等や Levy 過程を研究されている Boyarchenko 先生等が参加し、発表されたことに驚きましたが、そのような場で発表できたことを本当に嬉しく思いました。

●今月の特集は「リアルオプションとゲーム理論、そしてエージェンシー問題」です。基礎研究だけでなく応用研究も紹介されており、現在のリアルオプション研究をほぼ網羅した内容になっていると思います。最近の研究発表会の発表件数からも分かるように、ファイナンスやORの世界で、注目されている研究のひとつとなっているように思います。日本でもさらにリアルオプション研究が広がり、世界へ発信する研究が増えればと願っています。(八木恭子)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 山下英明 (首都大学東京)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 岡野裕之 (日本アイ・ビー・エム(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 高野正次 (日本電信電話(株)), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (東京大学), 田島博之 (秀明大学), 田村一軌 (助鉄道総合技術研究所), 豊泉 洋 (早稲田大学), 生田目崇 (専修大学), 廣津信義 (順天堂大学), 牧本直樹 (筑波大学), 増田浩通 (千葉工業大学), 村井雅彦 (株東芝), 八木恭子 (東京大学) 渡邊 勇 (助電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成20年11月号 第53巻 第11号 通巻575号

代表者 伏見 正 則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 山下 英 明

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ